

高齢者見守りボランティア北方

◇見守り活動の内容◇

日常的な見守り	定期的な見守り
日常生活の中で、さりげなく気にとめる方法	(本人の承諾の下)の定期的に声かけ・訪問する方法
<ul style="list-style-type: none">●新聞・郵便がたまっていないかの確認●庭が手入れされているかの確認●夜自宅の電気がついているかの確認●出会った際のあいさつ声かけ●車で外出しているかの確認	<ul style="list-style-type: none">●安否確認のための訪問●電話での確認●ふれあいサロンでの声かけ●案内の配布

◇高齢者を取り巻く現状の理解を目的に3日間開催◇

1日目

高齢者の身体と疾患(認知症)の理解
認知症疾患医療センター(黒野病院)
村田一郎医師による講義

2日目

高齢者に関連する制度とサービス

3日目

高齢者の見守りの方法 ボランティア登録

※ 平成24年度6月4日・6日・8日(3日間)
参加実人数 21名



地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市区町村名	北方町
②人口（※1）	18,451人 ()
③高齢化率（※1） （65歳以上、75歳以上それぞれについて記載）	65歳以上 3,665人 () 75歳以上 1,633人
① 取組の概要	地域で高齢者を見守るボランティア「見守りボランティア北方」を育成し、希望する高齢者に対し、訪問や見守りをするこゝで、高齢者の孤独感の解消及び安心感の提供並びに孤立死の防止を図ることを目的とし実施している。
⑤取組の特徴	町と地域住民とが連携し在宅の高齢者に対して、見守り事業を実施している。ボランティアへの講習には、認知症疾患医療センター医師の講義や町内の介護施設職員の講演などを取り入れ他機関とも連携を取りながら実施している。
⑥開始年度	平成23年度
⑦取組のこれまでの経緯	平成23年7月にボランティアの養成講座を開催し、12名のボランティア登録があった。11月より活動を始め対象者は38名（延べ訪問回数276回）である。平成24年度のボランティア登録は19名であり、少しずつ活動が広がっている。
⑧主な利用者と人数	70歳以上の高齢者世帯 平成24年度実績 見守り希望者52名（延べ訪問回数 705回）
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	実施主体：北方町 見守りボランティア北方
⑩市区町村の関与（支援等）（※2）	講師報償費 58千円
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※3）	地域支援事業費（介護予防事業）
⑫取組の課題	見守り希望をする高齢者世帯が増えず、今後どのように周知し希望者を増やしていくのかが課題となっている。
⑬今後の取組予定	7月に見守りボランティアの養成講座を実施しボランティア登録者を増やす。9月に民生委員の協力のもと、高齢者世帯に見守り希望の調査を実施する。また登録しているボランティアに対しても研修を行いスキルアップしていく。
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	北方町地域包括支援センター 058-323-5540

※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を()内に記載してください。

※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。